

【プロジェクトA主な活動内容①】

【エビ陸上養殖事業の検討①】

■ バイオフィロックテクノロジー（BFT）による バナメイエビ養殖基礎試験

目 的：BFTによるバナメイ養殖に係る基礎データ取得

期 間：6月2日～10月6日

場 所：三重県水産研究所尾鷲水産研究室

実施者：おわせSEAモデル協議会 PJ-A

パートナー企業

結 果：昨年までの実験の成果や有識者からの助言を
基に3m³水槽にて国産バナメイ稚エビ(PL20)
から成エビ(約10cm)の成育に成功

■ エビ養殖試験見学会の開催

日 時：10月5日

場 所：三重県水産研究所尾鷲水産研究室

概 要：関係者・報道機関に養殖実験と成果を発表



【エビ陸上養殖事業の検討②】

■ プレマーケティング調査の実施

- ・ 市内水産事業者、県内食品卸、食品コンサル企業の協力の下、実験で生産したエビを用いてプレマーケティング調査を実施し、一定の好評価を得た。また国産エビの安定供給への期待が大きいことを確認した。
- ・ 11月2日にマーケティング調査の一環として、市内飲食店にて試食会を実施、またその模様を報道各社に取材いただき情報提供を行った。

■ 事業化に向けた課題点

- ・ BFTによる生産システムの確立
- ・ エビ種苗の安定確保

■ 来年度の活動

- ・ 事業化に向けた養殖試験
- ・ FS調査・マーケティング調査
- ・ 事業体構築に向けた取組み



02 | プロジェクトA活動報告

【プロジェクトA主な活動内容②】

【藻類養殖事業の検討】

■ 火力発電所跡地を活用した「藻類の養殖実証試験」に係る三重大学との共同研究

目 的：藻類養殖に係る発電所跡地の地下海水の適性を評価・確認

期 間：海ぶどう養殖試験 4月27日～10月18日
すじ青のり養殖試験 10月29日～3月31日

場 所：尾鷲三田火力工事所内

実施者：おわせSEAモデル協議会 PJ-A
三重大学

結 果：海ぶどう・すじ青のりについて一定の成長が確認できた。しかし地下海水の塩分濃度等、成長に及ぼす不安要素も確認したため、継続調査を実施する。



【企業誘致・事業化に向けて】

■ 陸上エビ養殖事業

- ・ 基礎試験の成功により事業化の実現可能性が増した。
- ・ 見学会等メディアを活用した情報発信から各種問合せが増加し、また地域からの期待の声が高まった。
- ・ 検討を重ねているパートナー企業との関係を深め、さらに新たな参画企業を発掘する等、事業化に向けた取り組みを進めていく。

■ 海ぶどう養殖事業

- ・ これまで複数の事業者と意見交換や養殖試験を実施してきた。
- ・ 現在、参画希望企業1社と2023年の事業開始を目標に協議を始めた。

■ すじ青のり養殖事業

- ・ 養殖事業者と意見交換を重ねるとともに、実施している養殖試験の各種データを開示し、企業誘致に繋げる。

■ その他

- ・ 陸上養殖に限らず、SEAモデル用地活用に係る事業について積極的に情報交換を行い誘致活動を進める。